

浦高同窓会令和3年第1回理事会

●ハイブリッドの会議が定着して！

4月18日(日)の13時30分～15時は、「一般社団法人埼玉県立浦和高等学校同窓会令和3年度第1回理事会」が開催されました。今回も麗和会館での対面とZoom併用のハイブリッドでの会議となり、役員31名中会場17名、Zoom11名の参加者による会議でした。

今回の議題は、6月27日(日)13時30分にプリランテ武蔵野(さいたま新都心)で開催される「令和3年度社員総会」に向けた議題「令和2年度事業報告及び決算案」の審議でした。概要は、

1. 令和2年の事業実施状況では、昨年4月以降の同窓会の活動が記載され、特に7月1日に一般社団法人が設立されて以降の事業状況が報告されました。新型コロナ禍ということもあり、東京浦高会と浦和麗和会の総会以外では地域職域の活動もなく、少々寂しい内容でした。
2. 令和2年度決算案については、期首6,220万円ほどの正味財産が約220万円増の6,440万円で決算を迎えたというものでした。

詳細は社員総会において承認をいただいた後となりますが、さまざまな事業が中止となった令和2年度と同窓会活動でした。

さて、野辺博・同窓会会長(高24回)のご挨拶の中では、現在の浦高の様子などが披露されました。



◆3月17日 卒業式

(第73回生、356名 ⇒ 3月16日同窓会入会)

◆4月9日 入学式(第76回生、357名)

◆昨年は、コロナ禍で11月の強歩大会以外は学校行事や部活が中止になったが、令和3年度は5月の新入生歓迎マラソンをはじめ、学校行事をできるだけ実施し、部活も平日2時間(4日制)、土日3時間(土日のどちらか)というこれまでの週休2日制で実施できるように努力するとのことでした。

◆昨年度の大学入学は東大46名(現役25名)をはじめ好調であったが、生徒たちがタイムマネジメントに徹したことが原因と校長は分析されています。とのご挨拶がありました。水石明彦校長の「令和3年度入学式式辞」から現在の浦高生活を見ると…。



「〔前略〕。浦高には、皆さんがこれらの「基本」を身に付けるための最高の環境が用意されています。浦高での生活すべてを楽しんでもらえさえすれば、高校生として最高レベルの知

識はもちろんのこと、非認知的スキルを含む「基本」が身に付く環境、すなわち皆さんを大人へと鍛え上げる環境がここにはあります。ですから、皆さんにはとにかく浦高生活のすべてを思い切り楽しんでほしい。ただし、楽しむためにはコツがあります。▼一つは浦高生活を楽しむための必要条件、自分でタイムマネジメントができることです。やりたいこと、やるべきことがたくさんある皆さんには、様々なスパンでそれらを適切に整理できなければなりません。もちろん、はじめは難しいでしょう。でもやりながら自分なりのマネジメント法を見つけ出してほしいと思います。▼二つ目は浦高では仲間とともに学び、切磋琢磨すること。高校でも大学でも、学びの環境として大事なこととして、「誰と学ぶか」があります。高校・大学選択は、すなわちどんな生徒・学生集団の一員になるかを選ぶことでもあるのです。浦高を選んだ皆さんは、ここで出会った仲間たちと遊び、教え合い、議論し、励まし合い、助け合うことができる。その生活こそが、皆さんにとってかけがえのない成長の場となります。

▼三つ目はこの環境を活かすコツ、浦高生活すべてに全力で取り組むことです。全人教育や教養主義を標榜している本校は、勉強はもちろん、伝統の学校行事も、部活動も、どれも皆さんが本気でチャレンジするにふさわしい、質と難易度を誇っています。一人ではあまりにも過酷で困難に思えるものも多くあります。でもそれは、「知・徳・体」をバランスよく鍛えてもらうための仕掛けです。目先の成果ばかりを追って小さくまとまることなく、何十年も先を見据えてとことんチャレンジせよというメッセージです。もっとやれる、もっと完璧に、という気持ちで取り組んでもらいたいのです。〔後略〕。とのことでした。(浦高HPより引用)

その他に、小野崎研朗さん(高32)からは「グランド人工芝化プロジェクトの状況について」報告が有り、現在2,800万



円の寄附が集まっているそうです。目標が6,600万円ですので、あと2/3頑張りましょう。



学位記授与式(大学動画より)



Zoom参加の原さん

最後には参加者の近況で田中暄二・副会長(高16回)が3月20日に平成国際大学卒業証書・学位記授与式に修士総代で臨まれたこと、理事の原敏成さん(25回)が5月に埼玉県経営者協会の次期会長に内定したことや武州ガス坂戸事業所が「CASBEE 不動産評価認証(S評価)」を取得したことなどが報告されました。